

4月の野菜の見通し

令和4年3月31日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績*	平年比 見込**	5カ年* 平均	前年実績*	前年比 見込*** (%)	5カ年 平均*	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	10,207	並み	10,309	69	138%	91	0	0.0%	上旬は終盤の神奈川県産が減少するが、後続の千葉・茨城産は低温・干ばつの影響で生育が遅れているため減少を補えるのは中旬以降か。予想入荷量は前年並み～微減。見通し単価は安かった前年を大幅に上回り、平年をわずかに上回る。
キャベツ	19,917	並み	19,068	70	121%	101	-	-	神奈川県産を中心に愛知・千葉産の出回り。生育は低温・干ばつの影響で遅れている面はあるも概ね順調。予想入荷量はやや多かった前年並み～微減。荷動きは現状では極端に鈍いわけではなく単価は前年以上となっており、4月も同様の傾向か。見通し単価は前年を2割上回るも平年を1割以上に下回る。
ねぎ	3,253	並み	3,535	467	75%	331	7	0.2%	千葉・茨城・埼玉産の出回り。上旬は春ねぎの出回りがまだ多いが、中旬からは減少。また、茨城産の初夏ねぎが出始める。予想入荷量は少なかった前年を上回り平年並み。見通し単価は高かった前年を2割以上に下回るも平年比ではやや上回る。
きゅうり	7,417	並み	7,209	266	94%	256	20	0.3%	関東産は冬場に加温を遅らせていた傾向あり、4月に数量がまとまって出てくる予想。4月中旬にかけては出荷の山場となる見通し。予想入荷量は前年並み～微減で平年並み。見通し単価は前年をやや下回るも平年並み。
トマト	7,346	並み	7,280	335	96%	355	2	0.0%	熊本産は一部病害の影響あり前年比減も他産地は生育順調で全体の予想入荷量は平年並み。これまでは全体量が伸び悩んでいたが3月下旬からは増えてくるか。4月下旬～5月上旬にかけては例年のように潤沢な出回りとなり相場軟化の気配。見通し単価は前年を僅かに下回り、平年比では1割近く下回る。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)*、「野菜の生育状況及び価格見通し」(農林水産省)**、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)***

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)